

# こんな沼津がいいね ― 魅力ある「まち」を目指して

令和7年12月 高尾台住民

私達は、大都市の多くの人達が、休日の度に帰りの交通渋滞を覚悟の上で、大移動していることを目の当りにしています。

この人達は、訪問先の違いはあるとしても、日常生活を離れ「癒し」「やすらぎ」の空間を求め、風光明媚な自然の中に身を置くことを目的としています。

近隣都市の観光スポットとして、

**三島スカイウォーク**：あの橋が起爆剤となって、年間来場者は100万人を数えます。

**河津桜**：ピーク時200万を数えました。近年では50～60万人に落ち着いているようですが、それでもこの数です。

**富士霊園**：「日本さくら名所100選」にも選ばれ、4月の満開時には約11万人が訪れ、秋は紅葉の赤と銀杏の黄色を楽しみに、多くの観光客が訪れています。

これらの施設の実績を見た時、私たちの沼津は、海山川の豊かな自然、歴史、産業、文化などが揃っているのに、これが活かされていないように思います。

これらを磨き上げることで、大都会の人たちが求める「やすらぎ」と「いやし」に応えられる、回遊性と滞在性のある観光空間を提供できるのではないかと気が付きます。

沼津の足元の宝から、特に沼津の個性と魅力を発信できる3カ所を挙げます。

一つ目は、千本浜公園と千本松原です。

二つ目は、狩野川。

三つめは、香貫山と沼津アルプスです。

## 一つ目の千本浜公園と千本松原

鎌倉時代の旅行記「東下り」に、浮嶋ヶ原の記述に続いて「この原に続き、千本の松原といふあり。海のなぎさ遠からず…」とあることから、千年以上前には既に存在し、わが国有数の松原として名を馳せていました。

樹齢三百年を超える大松林の壮観は、見る者に畏敬の念を抱かせ、雄大な駿河湾と富士山の眺望は見応えがあります。また、公園には、沼津に縁の歌人、文人の碑があり、これを訪れる観光客も少なくありません。

この堤防と松林内に田子の浦海岸まで、サイクリングロードを整備してはどうでしょうか。

## 二つ目は、狩野川！！

皆さん想像してみてください。

両岸の堤防に桜と紅葉を植える、そして堤防を改修してサイクリングロードを整備する。これは短い距離ではなく、伊豆長岡・修善寺まで通すことで、三津浜に出て、西浦を経て大瀬・戸田方面に、内浦・静浦経由で島郷・牛臥海岸から港へ、千本公園への回遊性が生れます。

そして、伊豆長岡位まで河床を浚渫して、観光船を運航させたいですね。

## 三つ目は、香貫山と沼津アルプス

香貫山の香陵台には、戦没者慰霊の五重塔、春は桜、山頂展望台からの駿河湾と富士山の眺望は、他に類がない雄大さがあります。

沼津アルプスは、香貫山から南に向かい、横山、徳倉山、志下山、小鷲頭山、鷲頭山、大平山へと続く山並みの縦走が有名で、駿河湾の弓状海岸と遠くに三保、富士山を望む雄大な眺めは圧巻！

しかし、聞く所では、登山道が荒れていて危ないと云われているので、私はこんな近くにいても登ったことがありません。ここを整備して、多くの方が安心してハイキングをして欲しいですね。

こうした、各地のまち近低山は、高齢者のハイキングには打って付として、TVでも数多く放映されています。

ここに挙げた三つの宝をはじめ、人工物に由らない足元の自然の宝を磨き上げ、心から安らげる空間を創り上げ、「田舎まち沼津」を世界に発信したいですね。

後世に遺すのは多額の借金ではなく、夢のある財産を遺しましょう。

長くなりましたが、終わりにもうひとつ、私の夢は「愛鷹山にロープウェイを架ける」ことです。